



乳酸菌配合の飼料
「パワーラック」

パワーラックはクルマエビの腸から分離した乳酸菌「ラクトコッカス・ラクテイス」を配合した。同社がバナメイエビで行った実験では、平均体重が増えるなど成育に効果を発揮するのを確認

九州メディカル

〔北九州〕九州メディカル（北九州市小倉北区、波多野稔 社長、093・592・1262）は、2012年内に養殖エビ用機能性飼料「パワーラック」をインドネシアで発売する。同国は世界有数の養殖エビ生産量を誇る。11年から試験販売を行っているが、「月ごとの出荷量が前月の約2倍になることもある」（前田稔取締役バイオ本部長）人気のため、本格販売を決めた。初年度1億円の売上高を目指す。

インドネシアに投入

養殖エビの機能性飼料

した。
インドネシア政府海洋水産省の販売登録が完了したのち、発売する。現

地価格は一キロ当たり1850円。現地企業と販売契約を結び、月約10トの販売を目指す。
12年6月にはボール農業大（ボゴール市）と提携し、評価や分析を始めた。今後はエビ以外の魚についても効果の有無を確認する計画だ。
インドネシアの養殖エビ生産量は年間約37万トと、日本の同約1600

トを大きく上回る。このため「巨大市場に売り込み」（同）、業容拡大を図る。
九州メディカルは保険調剤薬局の運営を行うメディカル部門と、微生物の研究開発を行うバイオ部門が事業の柱。12年3月期売上高は15億8700万円。